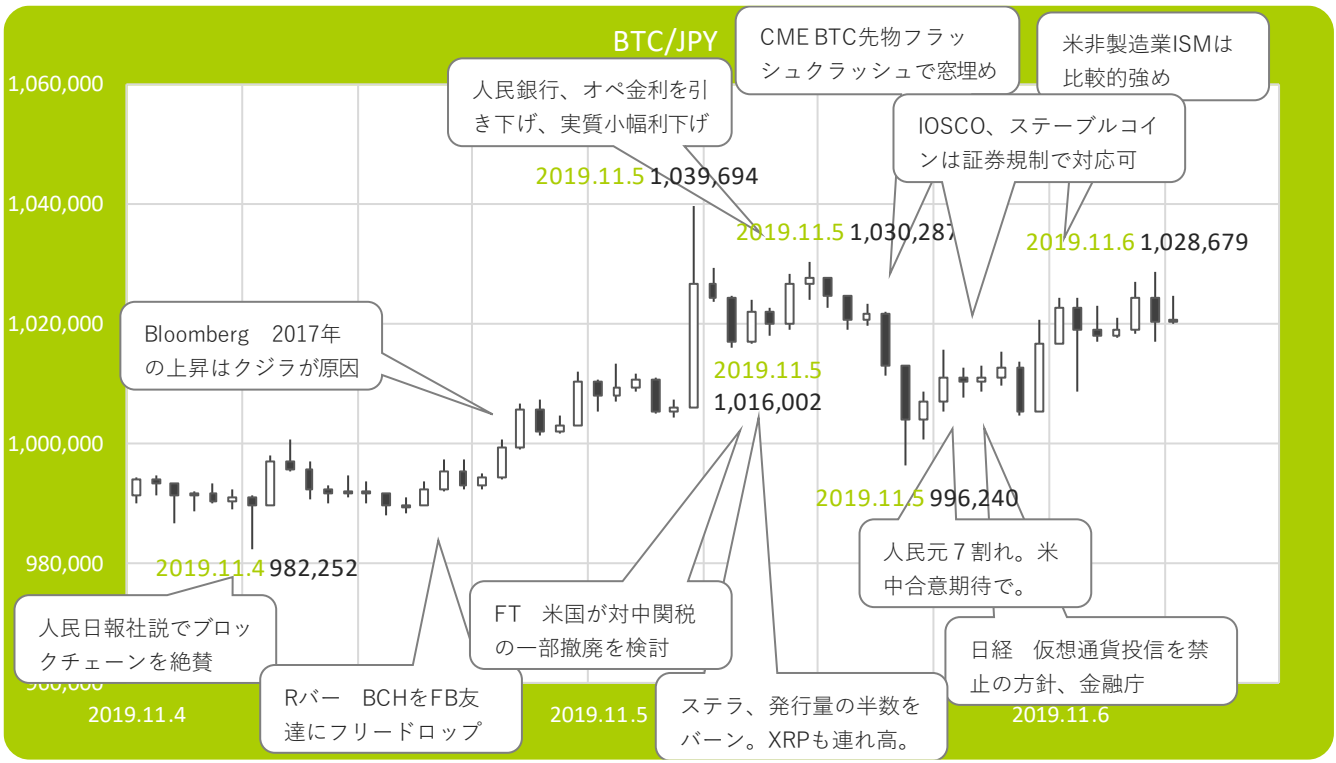


## 【反発後のビットコイン相場がすっきりしない理由】



通貨	BTC	ETH	XRP	BCH	LTC
価格	1,020,269	20,771	32.9	32,092	6,916
前日比	▼0.6%	+2.0%	+1.7%	+1.2%	+2.7%

## Review

### 急騰後は小動き

昨日のBTC相場は朝方上昇、その後下押しするも底堅さを見せる展開。下値水準を96万円台から97万円、98万円、99万円と切り上げている。前週末の中国発の暴騰の半値押しとなる96万円台で2度サポートされたBTC相場は人民銀行の社説など中国発のヘッドラインもあってじりじりと値を上げると昨日の朝方103万円台までショートカバーを見せた。今度は112万円と96万円の半値戻しで上値を抑えられたが、ステラが発行量の半分相当分をバーンするとXRPなどもつれ高となる中、BTCも再び103万円をトライした。しかしCMEのBTC先物で8500ドルまでのフラッシュクラッシュが発生すると一時100万円を割り込んだ。この結果、前週の急騰時の窓が埋まり先物価格も急反発したためBTC価格も反発を始めたが、人民元高や日本で仮想通貨投信禁止の報道、強めのISM非製造業指数などもあり戻りのペースは鈍い。

## Outlook

### すっきりしない理由

本日のBTC相場は底堅い展開を予想する。ステラのバーンは総発行量が半減、運営側の潜在的売り圧力の減少と好感された一方で、恣意的な運営との批判も見られた。Deribitに続くCMEでのフラッシュクラッシュは現物との紐づけない先物市場のもろさを露呈した。仮想通貨の価値の根源は信用であるだけに、こうした事がすっきりしない展開に影響しているか。米中貿易摩擦の緩和も上値を重くしたか。一方で、米株は2日連続での史上最高値を更新、中国は小幅ながら利下げとBTCを巡る環境は悪くはない。

#### 著作権表示©2019 FXcoin 株式会社

本レポートは一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。レポート内のいかなる情報又は意見も、仮想通貨の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。本レポートは予告なしに内容が変更されることがあります。本レポートは著作物であり、著作権法により保護されております。当社の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家へ配布することはできません。